



毛呂山町長 小沢信義

安全と安心のまちづくりを基本として

景気の低迷、消費の落ち込み、雇用の悪化などにより、地方財政は年々厳しさを増しています。

当町の財政は、施策の経費に充て可能な特定財源のみならず、一般財源の確保も非常に厳しい状況です。普通交付税および地方特別交付金は、若干の増額が見込まれますが、国庫補助金・負担金、各種交付金は、国の三位一体の改革により減額しています。

一方、財政需要は年々拡大する傾向にあります。これは、少子高齢化や障害者福祉対策を中心とする福祉施策関連の経費増加、学校施設や役場庁舎など既存施設の老朽化、耐震化に対応する必要があるためです。

こうした厳しい財政状況のなか、

子育て支援、高齢者福祉、教育、生活環境整備を中心に

平成21年度施政方針

安全・安心のまちづくりを推進

平成21年度は、『毛呂山町財政集中改革プラン』などに基づき、既存の事業および経費を引き続き見直します。また、『第四次毛呂山町総合振興計画基本構想』で目標に掲げられた「安心と安全のまちづくり」を基本として推進します。

平成21年度の主な取組

目白台循環バス廃止に伴う住民の交通手段については、平成21年10月から、町内全域を対象に循環バスを運行します。

納税者の利便性を向上させるため、コンビニエンスストアでの納税を可能にします。取扱税目は固定資産税、軽自動車税、住民税および国民健康保険税の4税目です。

また、役場一階市民ホールに住民サービスセンターを設置し、住民サービスセンターに住民票などの交付が受けられる自動交付機を設置します。

国民健康保険税の課税方式を現行

の4方式から2方式に改め、均等割と所得割の合計額で課税を行います。今回の改正は負担の均衡、課税の透明性、低所得層に対する軽減などをさらに推し進めるものです。

子育て支援関係事業

平成21年度から、子ども医療費の支給対象年齢を12歳から15歳までに引き上げます。

また、短期入所生活援助事業を実施します。保護者が病気などの理由で、児童を養育することが困難になった場合、児童を保護するため町内の児童養護施設に委託し、一時的に施設入所を行い保護できるような事業を実施します。

保育料の軽減措置として、第3子以降の認可保育園入園児に対して、保育料を無料にし、多子家庭保護者の経済的負担を軽減します。

「保育所等建築委員会」を発足し、新保育所建築および子育て支援センターに係る建築設計などの内容を検

討して、町の保育ニーズに対応できる施設のあり方を研究しつつ計画を進めます。

園児の安全を図るため、若草保育園の園舎耐震診断を実施します。

引き続き泉野小学校区新学童保育所新設工事を行います。

教育行政

毛呂山中学校校舎の耐震補強工事を実施します。また、北面の外壁塗装工事をこの耐震補強工事とあわせて実施します。前年度に引き続き泉野小学校の外壁塗装工事を実施します。

子どもたちの安全・安心な活動の場として、東公民館で勉強、文化活動などを行う「放課後子ども教室」を開催します。

小学校5・6年生を対象とした外国語活動（英語）の授業を約20時間増やし、35時間にします。

毎年実施している「特色ある学校づくり推進事業研究発表会」を平成

